下関市で戻したい肥の生産と利用に関する
現地実証試験を開始

下関農林事務所畜産部
平成 21 年 8 月 24 日

牛舎の敷料として利用されるオガクズ等が不足していることから、管内の酪農家から「戻したい肥を敷料利用したい」との要望があがってきました。

そこで畜産部では、菊川堆肥センターの協力により、戻したい肥を製造し、町内の酪農家に供給・利用する実証試験を８月 13 日から開始しました。

試験は、約２ヶ月実施する予定ですが、問題がなく効果が認められれば、次年度以降、管内酪農家での利用を進めたいと考えています。

準備した戻したい肥

戻したい肥敷設牛舎